

# Mランドニュース Vol.149

## 丹波ささ山校 令和元年8月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569  
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹  
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

### 今月の言葉

いいことは猛然とやりなさい  
利益誘導で動いてはならない  
常に「變」の心で働いてください

平成19年10月18日

小河二郎前会長 弊社講話より

### 變の心

山には木 池には水  
人には變  
山に木がなければ  
単なる土塊であり  
池に水がなければ  
一つのくぼ地にすぎない  
もし人に變の心なければ  
ただの動物であり  
愚痴と争いの  
存在でしかない  
やがてこのアマールは  
山から木を奪い  
水を涸らし  
地球を滅ぼすだろう  
人に變の心あれば  
たとえ山が裸になっても  
木を植える人が生まれ  
池が涸れても  
水を満たす人が成長する  
この地球に私たちは住み  
心の中にまた地球がある  
變の心で  
車の運転をするとき  
はじめて真のドライバー  
地球と地域の  
ドライバーとなる

このことばは、小河二郎前  
会長が、二〇〇五年にPH  
P研究所より発行された、

「全国から人が集まる不思議な自動車教習所」の冒頭、「變」を私たちに示していただいたことばです。

教習はもちろん、職員にとつてMランドの「核」となることばです。

「何かをしよう」とするとき、「變」の心で考えると、自分本位で行動するか、相手に喜ばれる行動をするかがおのずと分かります。

そんな「變」の心を表しているひとつが、Mランドの「杜」のコースです。

十四年前から小河前会長は低木、中木、高木と植樹を始められました。

十年前には多くの南京ハゼを植樹され、「五年後には、見違えるようになりまします」と言われました。

杜のコースに生きている小河前会長の想いと共に、私たちは成長していきます。



しぜんと木の「生命力」を感じます

### 安全運転講習会

共育チーム 南勝 宏幸

七月八日(月)、関西電気保安協会様の、高卒新規採用者二名を対象に、安全運転講習会を実施させていただきました。

三時間の中で、所内コースでの基礎練習と、一般道路における路上走行を実施しました。

高校を卒業したばかりのお二人は、積極的に受講されておられました。運転に不慣れなことから、戸惑う場面も少なからず見受けられました。

自動車の運転は、企業としての戦力になるだけでなく、地域社会との関わりを円滑するためにも、とても重要なものです。

しかし、会社の車を運転するということは、企業の看板を背負って運転することであり、初心ドライバーにおいても、同様の信頼性が求められます。

私たちは、自動車教習所として、運転免許取得の一

役を担わせていただいておりますが、今回、単に免許を取得させることが目的では、お客さまご自身や、ご家族、就職先などにもご迷惑をおかけすることも実感しました。

長く将来運転されるゲストの人生に寄り添い、小さなことから伝えていかなければならないと、痛感しました。

最後に、無事故無違反の意義や、大切さをお願いし閉講しました。

### Mランドと私

顧客チーム 長谷川 泰之



私はこれまでに二つの教習所で勤めてきましたが、Mランドは明らかに一線を画していました。

ゲストと共にを行う朝のボランティア活動をはじめ、各種イベントや営業活動など、その業務は多岐に渡ります。

与えられた仕事をこなすことに慣れきっていた私は散々に打ちのめされ、如何に自分の考えが甘かったかということを思い知らされました。

自身の不甲斐なさに涙することもありましたが、そんな時には必ず誰かが傍で支えてくれました。そのお陰で今日の私があることを忘れることはありません。

Mランドはありのままの私を受け入れ、「人に喜ばれる生き方」という視点で私を成長させてくれました。

今では、任せていただく業務も増え、役に立っていることに喜びを感じています。

帰宅すると、満面の笑顔で私の胸に飛び込んできてくれる娘たちも、ようすが変わりはじめ、少しずつ大人に近づき子どもたちと同様、ゲストと向き合っています。



## 全国大会

そうじの力ちから

五班リーダー 岸恒三郎

六月二十九日(土)、株式会社そうじの力 小早祥一郎氏がご指導されている企業の全国大会が、福井県鯖江市、有限会社フイン様に於いて開催されました。

フイン様の社内見学では、美しさは勿論、誰が見ても道具や備品がどこにあるかが分かるだけではなく、要所にアニメキャラクターなどを用い、あそび心を演出されていました。



イラストで楽しさが生まれます

仕事場でありながら、働いているという感はなく、楽しみながらやっている雰囲気、私の感覚が大きく変わりました。

## 切磋琢磨

そうじの力

四班リーダー 前川昂希

各十二社の発表の中には、特色を生かした取り組みとともに、社員間の意識が決して均等ではなく、いかにしてモチベーションを上げていくかが、これからの課題であるとも言われていました。

今回、弊社の取り組みを発表するにあたり、全社員にそうじの力を実施していく中で、「心の変化」についてアンケートを取りました。

「小さなところまで、気を配れるようになった」というのが多数意見で、中には「家事をするようになった」と、ご家族にも喜ばれるような回答もありました。

大なり小なり個々の変化はあるものの、「気持ちの継続」と「すぐに行動」が私たちの課題であるとお話しました。



Mランドの取り組みを紹介しました

「そうじの力」の楽しさや、問題点が共有でき、大変刺激になった研修会でした。

合宿開始以来、整理整頓に努めています。男子ランドリーの適当な場所がなく、モノが丸見えの倉庫と共用してしまいました。



これが、あたりまえの風景でした

ふさわしくないこの環境がいつの間にか私たちには、当たり前になっていったのに気が付き、チームで改善しました。慣れない大工仕事もやっ



「中学生以来のノコギリです」と、女性スタッフ

ひとつ、またひとつと形が見えてくると、使う人に喜ばれるようにと、腕にも力が入りました。



若者の心をくすぐるディスプレイに

先日、ゲストの入校日におこなう施設案内で、いつも通り、ランドリーを案内していると、「おお！」と声が上がりましたよと、職員がおしえてくれました。

三班リーダー 水越健二 私たちの担当場所に、人の目に触れることのない、ゴミ集積場があります。



長い間、見て見ぬふり

会社で出たゴミを、ただ単に集めるところなので、さ

ほど問題意識もなく、後回しにしていたが、小早先生より「見えないところこそ」と、アドバイスをいただき、環境月を利用して、チームで改善しました。

まずは物を出して大掃除。要る物と要らない物を選別し、壁と床をブラシで磨き水を流すと一変、空気が清々しくなりました。



皆でやると楽しいものですよ

次に大切なことは、誰が見てもどこに物があり、間違えることなく、元に戻せる仕組みにすることです。



一番嬉しかったのは本人たちでした

利用者の意見も取り入れ、ふたたび乱れることがないよう、置く場所の「標識」と、

物の「表示」を作っていました。

そうじが終われば出来栄えを見てほしくなり、近くの人を捕まえては驚く顔に疲れも飛んでいきました。

## 編集後記

ある七月の早朝、玄関前の掲揚柱に、国旗を掲げようとした職員が、近くで「ピイピイ」と鳴く声に気がきます。見れば高い電柱の巢から落ちたスズメのヒナでした。何とかエサを与えようと、あの手この手も功をなしません。無情にも時は過ぎ、ダメ元で関西電力様に相談。

すると小さな「命」のために、高所作業車が直ちに到着し、ヒナは無事心配していた親鳥のもとへ。

「ここまでしてくれる」。同じサービスマンとして、頭の下がる思いでした。(徹)

## 【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

※八月の八上小学校の「掃除に学ぶ会」は改装工事中の為、実施致しません。 担当：前川

8/25(日) 篠山中学校 運動場トイレ (AM7:00~8:00 担当：中野)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。